

## G センサ 0 点学習/ CVT 油圧学習

### ■対応車種

ヴィッツ(KSP90)、エスティマ(ACR50)、カローラ(NZE141)等

上記車種のトランスアクスル交換時、エンジンコンピュータ交換時、デセラレーションセンサ交換時、オイルプレッシャセンサ交換時は『G センサ 0 点学習』および『CVT 油圧学習』を実施する必要があります。

以下に、G-scan を使用した作業要領を記載しますので、参考にしてください。

### ※注意※

- ・作業手順は、必ず『G センサ 0 点学習』を実施してから『CVT 油圧学習』を行ってください。

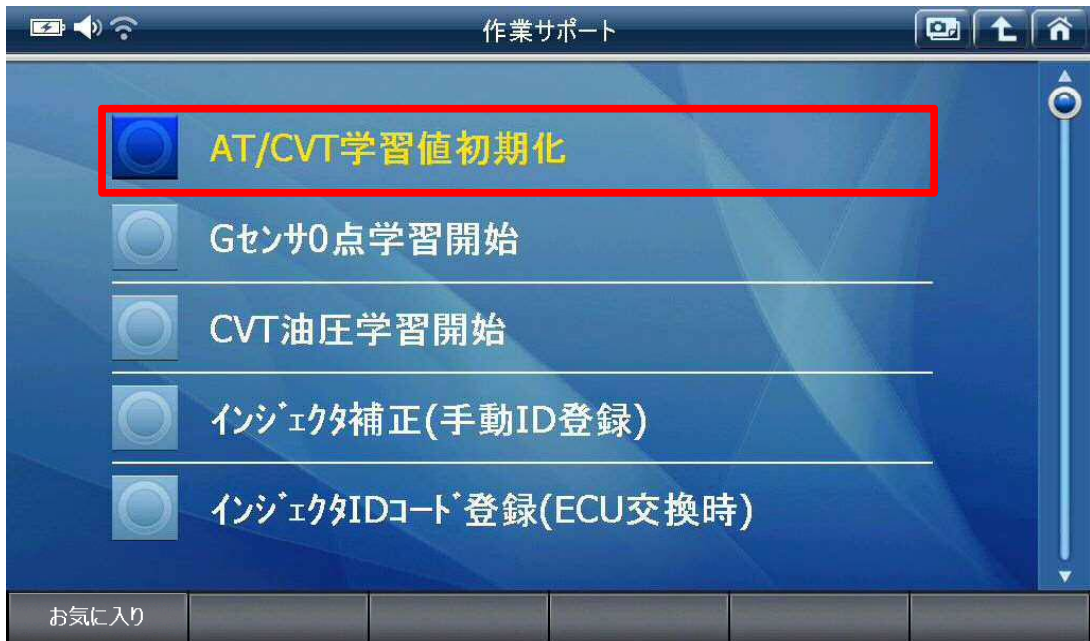
### G センサ 0 点学習要領

### ※注意※

- ・車両を水平状態にしてから、G センサ 0 点学習を実施してください。
- ・G センサ 0 点学習中は、車両に振動を与えないでください。

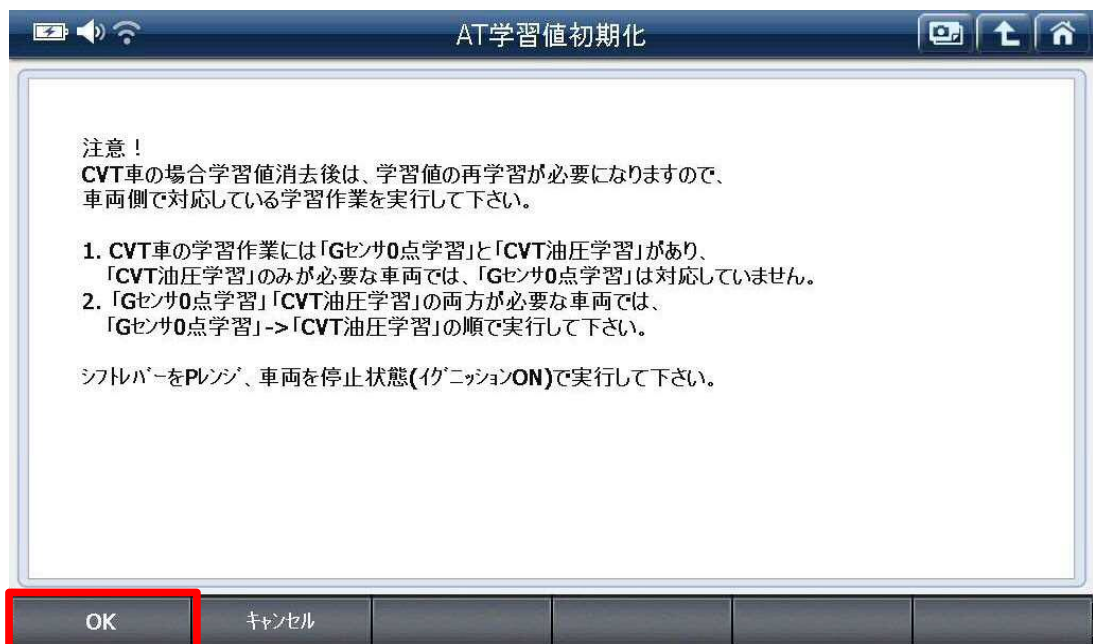
1. IG SW OFF の状態で、シフトレバーを P レンジにして、パーキングブレーキを作用させてください。次に、G-scan を診断コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
2. IG SW ON およびエンジン停止の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『TCCS』または『ECT/SMT/MMT』を選択してください。
3. はじめに、AT/CVT 学習値初期化を行います。

4. 診断メニューにおいて、『作業サポート』から『AT/CVT 学習値初期化』を選択してください。



〈図:AT/CVT 学習値初期化を選択〉

5. 注意事項を確認して『OK』を選択してください。



〈図: AT/CVT 学習値初期化画面〉

6. 初期化が完了しましたら、『OK』を選択してください。



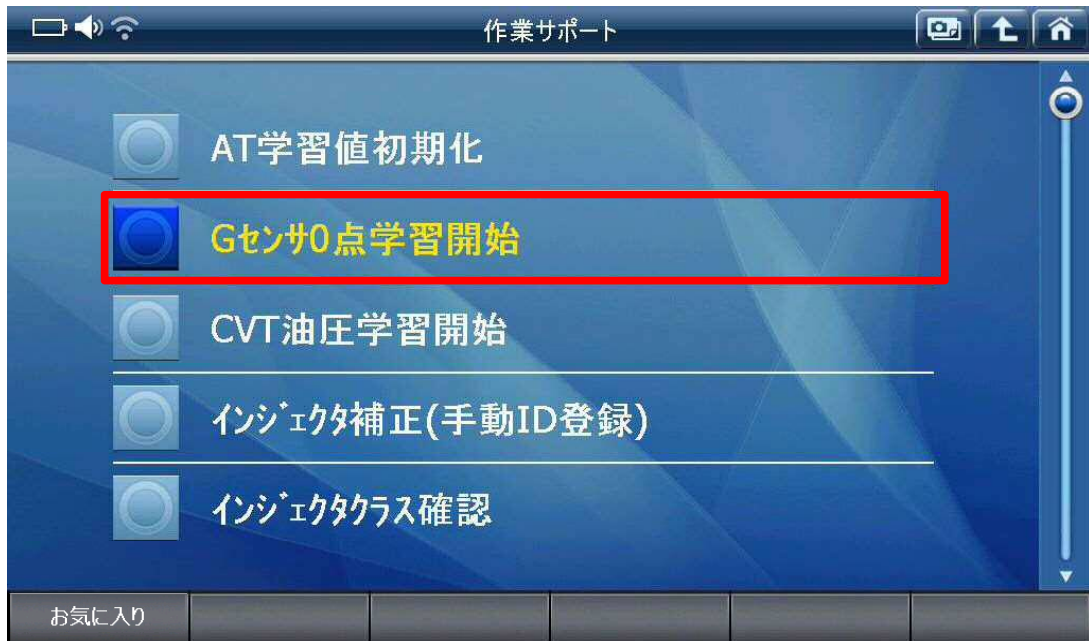
〈図:初期化完了画面〉

7. 続いて、G センサ 0 点学習を行います。

**※注意※**

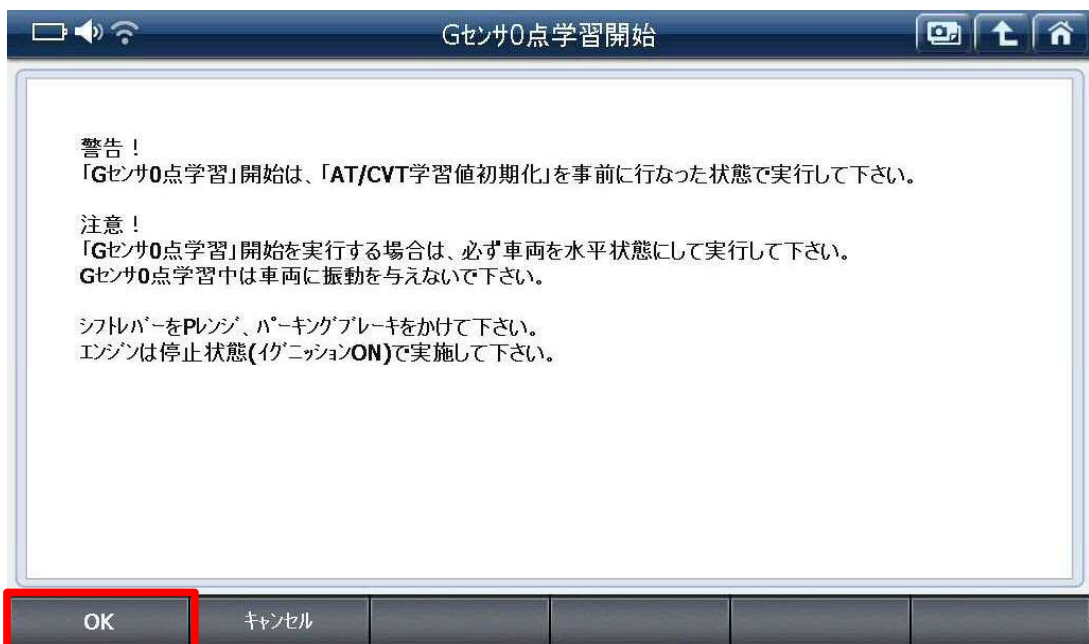
- ・G センサ 0 点学習中は車両に振動を与えると G センサ 0 点学習を中止する場合があります。その場合、G センサ 0 点学習から再度行ってください。

8. 『作業サポート』から『G センサ 0 点学習開始』を選択してください。



〈図: G センサ 0 点学習開始〉

9. 注意事項を確認して『OK』を選択してください。



〈図: G センサ 0 点学習画面〉

10. 学習が完了しましたら、『OK』を選択してください。



〈図: G センサ 0 点学習完了〉

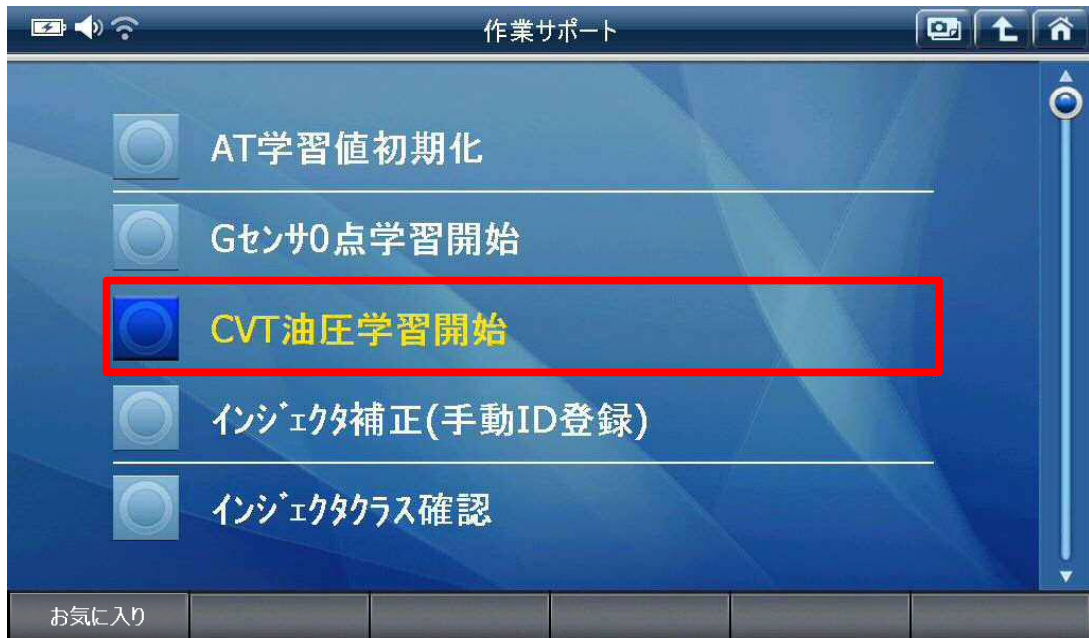
## CVT 油圧学習要領

### ※注意※

- ・CVT 油圧学習中はアイドルアップ状態になります。
- ・バッテリーを外しただけでは、CVT 油圧学習値は初期化されません。

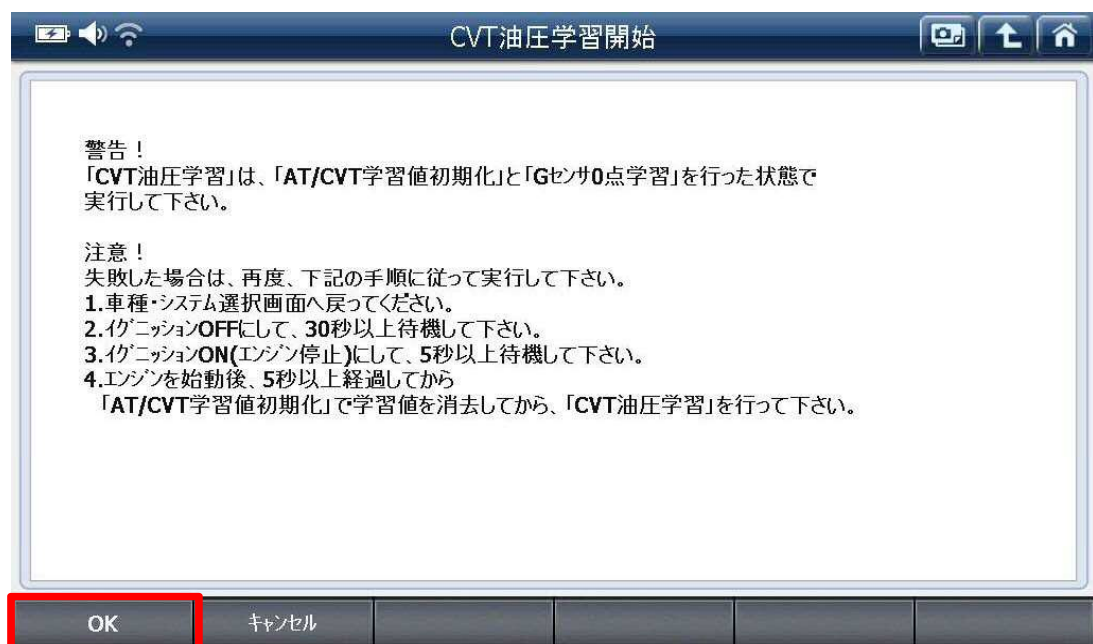
1. CVT 油圧学習を行います。  
IG SW OFF にして 30 秒以上待機してください。その後、IG SW ON およびエンジン停止の状態ですら 2 秒以上待機してください。
2. IG SW OFF の状態で、シフトレバーを P レンジにして、パーキングブレーキを作用させてください。次に、G-scan を診断コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
3. IG SW ON およびエンジン停止の状態ですら、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『TCCS』または『ECT/SMT/MMT』を選択してください。

4. エンジンを始動させ、診断メニューにおいて、『作業サポート』から『CVT 油圧学習開始』を選択してください。



〈図:CVT 油圧学習開始を選択〉

5. 注意事項を確認して『OK』を選択してください。



〈図:CVT 油圧学習開始画面〉

6. 学習が完了しましたら、『OK』を選択して終了です。



〈図:CVT 油圧学習完了〉